

改善報告書

令和2年7月29日

1. 大学名：千葉科学大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科及び航空技術危機管理学科は、収容定員充足率が0.7倍未満となっており、改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

薬学部生命薬科学科においては、教育・研究内容の充実、受験生、保護者等への情報提供の方法・内容等について検討し、学修内容や就職先、教育内容を周知するために広報活動を積極的に取り組み、平成30(2018)年度には入学定員を5名減ずるなど対策を行ってきたが、志願者、入学者ともに伸び悩み、厳しい状況が続いたため、平成31(2019)年度より学生募集を停止した。【資料2-1-1】

危機管理学部環境危機管理学科においては、教育・研究内容の充実を目指し、平成30(2018)年度より新たなコース設定を行い、学科、各研究室で行っている教育・研究内容が受験生に伝わるよう研究テーマ別のリーフレットの作成、具体的な就職先・職種等の提示など広報活動を展開し、学生確保に向けた対策を行ってきたが、志願者、入学者ともに伸び悩み、厳しい状況が続いたため、平成31(2019)年度より学生募集を停止した。【資料2-1-1】

危機管理学部航空技術危機管理学科においては、進学者の多くが航空関連のコースを希望していたことから、工学技術的見地を残しつつ、パイロット養成や航空整備等の航空関連の教育・研究を行っていることが分かるよう、平成29(2017)年度より工学技術危機管理学科から航空技術危機管理学科へ名称の変更を行い、志願者確保の方策として、他のパイロット養成を行う学部・学科を擁する大学の合同説明会である「エアラインパイロット養成大学合同説明会」への参加や、一般財団法人航空機操縦士育英会に加盟するなど、広報活動強化を行った結果、徐々にではあるが、志願者、入学者ともに増加傾向にあり、令和2(2020)年度は入学定員充足率が0.77倍まで回復した。【資料2-1-2】  
また、令和3(2021)年度より新たなコース設定、学納金の見直しを行い、積極的に航空機等に興味を持つ受験生に働きかけ、更なる志願者確保を目指す。【資料2-1-3】

5. エビデンス(根拠資料)一覧

基準項目2-1の資料

- ・2-1-1 千葉科学大学学則
- ・2-1-2 入学定員超過率
- ・2-1-3 危機管理学部航空技術危機管理学科 新コースチラシ

改善報告書

令和2年7月29日

1. 大学名：千葉科学大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-1

○理事会において、直接利害を有する理事が議案の議決に加わり、寄附行為第17条第12項に違反しているため、経営の規律において改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目3-1について

理事が直接利害を有する理事会議案の議決を行う際には、当該理事の退席後に議決を行うように変更した。

- ①平成29(2017)年12月26日(火)開催の平成29年度第13回理事会において第4号議案「人事について」のうち、「倉敷芸術科学大学学長の選任について」の審議の際には、該当選任候補者である理事の退席後議決を行った。【資料3-1-1】
- ②平成30(2018)年2月23日(金)開催の平成29年度第15回理事会第7号議案「その他」において、「広島加計学園への担保提供について」の審議の際には、広島加計学園監事を兼ねる本学園常務理事の退席後議決を行った。【資料3-1-2】
- ③平成30(2018)年3月26日(月)開催の平成29年度第17回理事会において第4号議案「人事について」のうち、「理事の選任等について」の審議の際には、該当選任理事である2名の理事の退席後議決を行った。【資料3-1-3】

以降、継続して、理事が直接利害を有する理事会議案の議決を行う際には、当該理事の退席後に議決を行っている。

5. エビデンス(根拠資料)一覧

基準項目3-1の資料

- ・3-1-1 平成29年度第13回理事会決議録(抄本)第4号議案「人事について」
- ・3-1-2 平成29年度第15回理事会決議録(抄本)第7号議案「その他」
- ・3-1-3 平成29年度第17回理事会決議録(抄本)第4号議案「人事について」

改善報告書

令和2年7月29日

1. 大学名：千葉科学大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

○大学の経常収支差額、事業活動収支（帰属収支）差額が継続して支出超過であることに鑑みて、安定した財務基盤を確立するために入学定員・収容定員の充足を図るほか、経費節減等も視野に入れた収支の改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目3-6について

入学定員・収容定員の充足を図るため定員の見直しを行い、平成31（2019）年度より薬学部生命薬科学科及び危機管理学部環境危機管理学科の2学科について学生募集を停止し、入学定員を535名から500名に減じた。【資料2-1-1】また、徐々にではあるが志願者・入学者も年々増加傾向にあり、令和2（2020）年度の入学定員充足率は0.88倍まで回復した。【資料2-1-2】

経費節減等も視野に入れた収支の改善においては、残念ながら平成29（2017）年度決算以降も事業活動収支差額は赤字が増加している。これは学生納付金額が高い薬学部の定員未充足及び卒業生に対し平成30（2018）年度、平成31（2019）年度の入学者の落ち込みにより、収容定員に対する充足率が低下したことを原因とした学生等納付金が減収にある。【資料3-6-1】このような状況を改善するため、平成31（2019）年度より、薬学部生命薬科学科及び危機管理学部環境危機管理学科の2学科について学生募集を停止し、経費削減をするとともに、安定した入学定員・収容定員の充足を目指している。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目3-6の資料

- ・2-1-1 千葉科学大学学則
- ・2-1-2 入学定員充足率
- ・3-6-1 平成29、30、令和元年千葉科学大学事業活動収支計算書